

授業概要(シラバス)

※下記科目は全て実務経験のある教員等による授業科目

項目	内容	
授業科目	JavaScript	
授業方法	座学及び実習	
コマ数/週	50 分 × 2 コマ	
達成目標	プログラム構築に必要な考え方を訓練しながら、 JavaScript の基礎を習得。	
授業内容 (サブタイトル)	JavaScript の基本	JavaScript の基本
	変数と出力	変数と出力
	条件文	条件文
	配列	配列
	Web ページでの色設定	ローディング設定
	動的な Web ページ作成実習	Web アプリ作成
	外部ライブラリーの活用	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	HTML/CSS	
授業方法	座学＋実習	
コマ数/週	前期 50 分 × 6 コマ 後期 50 分 × 4 コマ	
達成目標	Web サイトの技術の根幹をなす HTML/CSS の要素を 1 つずつ学び、文章の意味が通じるセマンティックなマークアップができ、フロントエンドエンジニアの卵のレベルまでを目指してスキルを習得する。3 月からの春特訓に向けて、一人でマークアップできるようになる。	
授業内容 (サブタイトル)	<前期>	
	HTML & CSS 制作にあたって	HTML の基本的な知識 基本的な要素、タグ
	リンクと画像の挿入	表（テーブル）
	フォーム	はじめての CSS
	CSS レイアウト（position）	CSS レイアウト（display）
	CSS レイアウト（Flexbox）	Web レイアウト練習
	<後期>	
	疑似要素	transition
	Web フォント、Web アイコン	BEM を用いた命名規則
	HTML/CSS のおさらい	制作実習 1
	制作実習 2	制作実習 3
	制作実習 4	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	Office 実習	
授業方法	実習	
コマ数/週	50 分 × 2 コマ	
達成目標	Microsoft Office Specialist (Excel、Word) 検定の資格取得を目指す	
授業内容 (サブタイトル)	<前期>	
	Word の機能と操作方法	文書の管理
	文字、段落、セクションの挿入と書式設定	表やリストの管理
	参考資料の作成と管理	グラフィック要素の挿入と書式設定
	文書の共同作業の管理	模擬試験の解説と演習・確認テスト
	<後期>	
	Excel の機能と操作方法	ワークシートやブックの管理
	セルやセル範囲のデータの管理	テーブルとテーブルのデータの管理
	数式や関数を使用した演算の実行	グラフの管理
	模擬試験の解説と演習・確認テスト	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	PHP I	
授業方法	実習	
コマ数/週	後期 50 分 × 4 コマ	
達成目標	PHP の基本文法を学び HTML, CSS と組み合わせた簡易な Web アプリケーション開発ができるようになる。	
授業内容 (サブタイトル)	PHP とは	簡単なプログラムの実行
	算術演算子を使った計算	フォームから受け取ったデータの処理
	関数の定義と使い方	CSV とは
	PHP における if, else if, else 構文	PHP における for 構文
	PHP における while 構文	PHP における配列
	PHP における連想配列と繰り返し構文	WebAPI とは
	公開されている WebAPI の利用	Web アプリケーション開発の応用
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	UI/UX デザイン	
授業方法	実習	
コマ数/週	前期 50 分 × 4 コマ 後期 50 分 × 2 コマ	
達成目標	本科目では、Web サイトをデザインする技術を学ぶ。 世界的な UI/UX デザインツールである Figma の扱い方を学び、世界基準のデザインツールを扱えるようになり、その他の Adobe ツールにも流用できるノウハウを習得する。 1 年を通して、春特訓時にワンカラムの簡単な PC サイトデザインができるレベルになる。	
授業内容 (サブタイトル)	Figma の操作方法	簡単な図形を描く
	ペンツールの活用	図形の合成
	テキスト入力	コンポーネントとバリエーション
	デザインシステム	プロトタイプの作成
	SNS アプリ画面作成	レイアウトの原則
	Web バナー作成	鏡野町観光マップサイト作成
	旅館 平湯荘サイト作成	サイトのトレース
	サイトデザイン作成	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	デザイン概論	
授業方法	座学	
コマ数/週	50 分 × 2 コマ	
達成目標	サイト企画、目的や目標設定、コンセプト、分析をはじめ、デザイン・レイアウトや配色のセオリー、さらに最新の Web サイト設計や著作権など、Web デザインに必要とされる知識を幅広く学び、初心者から Web デザイナーになれるためのノウハウを身に付ける	
授業内容 (サブタイトル)	デザインとは	W e b 制作に関わる人たち
	進行管理から学ぶ課題の心得	目的と目標を考える
	Web 制作のワークフロー	ワイヤーフレームとプロトタイプ
	コンセプトを決める	分析方法
	色とは	色の三属性
	トーンと補色、類似色	色の印象
	配色と比率	レイアウトとは
	レイアウトの 4 つの原則	余白
	ジャンプ率	情報のグループ化
	グリッドレイアウト	W e b レイアウトの種類
	タッチデバイスのレイアウト	ナビゲーションの種類
	ナビゲーションのレイアウト	レイアウトにおける視線誘導
	インタラクションデザイン	インタラクションパターン
	マイクロインタラクション	CSS を使ったインタラクション
	権利について	デジタルにおける著作権
	バナーレイアウト演習	
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	デッサン	
授業方法	実習	
コマ数/週	前期 50 分 × 2 コマ	
達成目標	基本的なデッサンを習得し、 ラフスケッチから illustrator を用いたデザイン制作まで行う	
授業内容 (サブタイトル)	デッサン 線の基本練習	デッサン 線の基本練習
	デッサン 楕円を使った丸いかたちを描く	デッサン 楕円を使った丸いかたちを描く
	身近なモノの描き方について	身近なモノの描き方について
	ラフスケッチからフォトコラージュ制作	ラフスケッチからフォトコラージュ制作
	ラフスケッチからチラシデザイン制作 1	ラフスケッチからチラシデザイン制作 1
	ラフスケッチからチラシデザイン制作 3	ラフスケッチからチラシデザイン制作 3
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	ビジネス実務	
授業方法	座学	
コマ数/週	50 分 × 2 コマ	
達成目標	ビジネス能力検定ジョブパス 3 級の取得を目指す 就職活動の知識を身につける	
授業内容 (サブタイトル)	キャリアについて考える 他	キャリアについて考える 他
	仕事の基本姿勢 他	仕事の基本姿勢 他
	仕事のムダ・ムリ・ムラを取り除く（改善意識）他	仕事のムダ・ムリ・ムラを取り除く（改善意識）他
	身だしなみの基本 他	身だしなみの基本 他
	仕事の基本 他	仕事の基本 他
	学生言葉を卒業する 他	学生言葉を卒業する 他
	聞くことの大切さ 他	聞くことの大切さ 他
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	写真講座	
授業方法	実習	
コマ数/週	50 分 × 2 コマ	
達成目標	デジタル一眼レフカメラを扱って、思い通りの写真が撮れるスキルの基礎を学ぶ。 ポートフォリオに自身が撮影した写真を載せることによって、作品の厚みを持たせる。 撮影前の段取り、撮影中のコミュニケーション、撮影後の作業など、写真にまつわる基本的な仕事における考え方も学ぶ。	
授業内容 (サブタイトル)	カメラの持ち方	写真構図
	プログラムモード(P)	絞り優先 AE モード(Av)
	シャッター優先モード(Tv)	露出補正
	ホワイトバランス	マニュアルモード(M)
	交換レンズ	カメラ備品の扱い方
	光の向き	引き算による構図
	RAW 現像	スナップ写真
	風景写真	動きのあるものの撮影
	ライトを使った写真スタジオ	ポートレート撮影
	撮影時のポージング	パッケージの商品撮影
	食品撮影	作品プレゼンテーション
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	

項目	内容	
授業科目	動画制作	
授業方法	実習	
コマ数/週	50 分 × 3 コマ	
達成目標	映像制作においての基礎的な知識・技術を学ぶ。 基礎を学んだ上で応用を使った方法の映像制作方法も学ぶ。 前期では主に After Effects の動画作成を学び、後期は主に Premiere Pro の動画編集を学ぶ。特に後期は動画編集のための撮影することも学ぶ。	
授業内容 (サブタイトル)	After Effects の操作方法	スライドショー動画
	マスクを使った動画	1 文字ずつ動くアニメーション
	アニメーションプリセット	波紋アニメーション
	エフェクトを使ったアニメーション	手書き風アニメーション
	稲妻が走るアニメーション	プリコンポジションを使ったアニメーション
	Premiere Pro の操作方法	情報番組制作
	インタビュー動画制作	タイムリマップと手ブレ補正
	ハロウィンイベントの動画	モザイク動画
	分身動画	エンドロールの動画制作
	イラストアニメーション動画	学園祭の動画制作
	学校紹介動画制作	作品プレゼンテーション
成績評価方法	科目毎に、その終了時に 1 回の評価として A・B・C・D の 4 段階とする。検定取得状況・平素の授業態度・確認テスト・出席率・課題提出状況・期末試験等（年 2 回）の結果によって総合的に行う。	